

2024 年 4 月 26 日

公益財団法人 庭野平和財団
理事長 庭野 浩士 殿

団体名 特定非営利活動法人
アジアカリキュラム教育基金
代表者役職名 理事長
代表者氏名 荒谷 出


2023 年度非公募助成
事業報告書

貴財団の 2023 年度非公募助成により実施した「バングラデシュ国ノンフォーマル教育支援の持続化トランスフォーメーション促進事業（フェーズ 2）」について、下記のとおり報告をいたします。

記

1. プロジェクト名	バングラデシュ国ノンフォーマル教育支援の持続化トランスフォーメーション促進事業（フェーズ 2）
2. プロジェクト期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
3. 実施国・地域	バングラデシュ国ダッカ市、ガジプール県、ジャマルプール県、ネトロコナ県、ボリシャル県
4. 対象者数	BDP 小学校児童 3,546 名
5. 事業概要	社会・経済的状況が急速に変化する中で、BDP とコミュニティが主体的に地域の教育を担うよう変革を目指し、バングラデシュ社会における持続可能な教育支援の在り方を構築していく。コミュニティとの協議を重ね、教育から取り残される子どもたちがいないよう慎重に BDP 小学校数を減らすことで、運営費の削減を図る。また同時に、校舎等の改修や図書室設置支援などを通じて、教育の質的向上も目指す。さらに、従来の日本からの支援のみに頼らず、持続性が担保できるよう、バングラデシュ国内において支援や協力の可能性を探る。また引き続き、日本の若者や関係団体（特に幼稚園や学校）を巻き込みながら、バングラデシュと日本が継続的に学びあい、活動の縮小ではなく、単なる資金援助ではない関係性を強化していく。

6. 事業進捗状況

【BDP 小学校の閉校】

予定通り、ジャマルプール地区の以下 4 校が閉校した。

- ① Kumaria BDP 小学校
- ② Daponashor BDP 小学校
- ③ Nalkuri BDP 小学校
- ④ Boithamary Atapara BDP 小学校

上記以外も、コミュニティとの協議を進め、ジャマルプール地区、ボクシガンジ地区、カティラ地区において、以下の通り計 12 校を閉校した。

地区	2023 年 12 月		2024 年 3 月現在	
	学校数	児童数	学校数	児童数
ネトロコナ県ネトロコナ地区	5	598	5	605
ダッカ市ミルプール地区	3	413	3	508
ガジプール県プーバイル地区	8	750	8	643
ジャマルプール県ボクシガンジ地区	5	351	3	285
ジャマルプール県ジャマルプール地区	15	1192	10	797
ボリシャル県カティラ地区	6	242	1	71
計	42	3,546	30	2,909

■ 教員数：154 名（2023 年 12 月末）⇒123 名（2024 年 3 月末）

【研修センターの改修】

ボクシガンジ地区、ネトロコナ地区の両研修センターの改修は、資材高騰の影響により、以下の通り部分的な改修が終了した。

（ボクシガンジ地区）

- ・ セメントによる外壁の修繕
- ・ 井戸水のポンプ修繕
- ・ 屋根の修繕

（ネトロコナ地区）

- ・ テラスの外部鉄格子の設置
- ・ 窓の交換（鉄製）
- ・ 床の修繕

【校舎の改修】

予定していた 4 校のうち、以下 2 校の改修が終了した。

- ① Bania Bari BDP 小学校（プーバイル地区）
- ② Langolijora BDP 小学校（ジャマルプール地区）

その他 2 校については、資材の高騰により改修することができなかった。

- ③ Batati Jalapar BDP 小学校（ネトロコナ地区）
- ④ Nowa Para BDP 小学校（ネトロコナ地区）

	【奨学金】 中学進学のための奨学金を 35 名の生徒（5,000 タカ／人）に提供した。 【図書室の設置】 予定していた以下 2 校について、図書室を設置した。 ① Lalkuthi BDP 小学校（ミルプール地区） ② Surjanagar BDP 小学校（ボクシガンジ地区） 【スタディツアー、セミナー等の開催】 8 月にスタディツアーを開催、高校生、大学生、社会人の総勢 17 名が参加し、BDP 小学校や障がい者グループなどとの交流を通じて、バングラデシュだけでなく、日本についても振り返り考える機会をもった。秋の ACEF セミナーでは、外部講師にバングラデシュの最近の教育事情をお話しいただき、またスタディツアー参加者の報告会も行った。1 月には、スタディツアー同窓会を ACEF ユース¹の発案で開催、世代を超えた交流の機会を持った。 その他： 【現地支援協力取り付けへの取り組み】 バングラデシュ国内の団体・機関（あるいは企業）に、BDP が実施する事業に対して支援や協力をしていただけるよう、アプローチを開始した。 ① 多くの日系企業を顧客に抱える経営コンサルティング会社 New Vision Solutions Ltd.と面会、日系企業の協力の可能性についてアドバイスをいただいた。 ② New Vision Solutions Ltd.と BDP が共催で、豊田通商株式会社と株式会社ユーグレナを招待し、『『豊田佐吉物語』読書感想文コンクール』を開催し、関係作りを行った。 ③ 株式会社ユーグレナとミーティングをもち、現在ミルプール地区の BDP 小学校に支援いただいている栄養クッキーの供与を他地区にも依頼し、子どもたちの栄養状態の改善を目指している。（交渉中） ④ JETRO（日本貿易振興機構）バングラデシュ事務所（現在、日本ダッカ商工会事務局）を訪問し、日系企業へのアプローチについて相談、BDP 小学校・職業訓練校卒業生の人材紹介サービスについてアドバイスをいただいた。（協議継続中） ⑤ 上記ご紹介いただいた日系企業 1 社にアプローチ。（継続中） ⑥ バングラデシュで活躍する BDP 小学校や職業訓練校の卒業生リストを作成し、BDP 事業への支援や協力を依頼する。（作成中） ⑦ 上記に関連して、日本に留学中の卒業生 1 名とはコミュニケーションを継続し、ACEF のイベント等にも参加してもらいながら、将来の
--	--

¹ ACEF の若者グループ

	BDP への支援を依頼している。
4. 報告までに発生した課題と取組み：	厳しい財政状況が継続する中で、日本からの送金が一時停止したことが大きく影響し、閉校に向けてのコミュニティとの協議が一気に加速した。これに伴い、まずは閉校する学校で勉強してきた子どもたちが、引き続き教育を受けられるよう受け入れ先（転校先）を漏れなく確保する必要がある。調査の結果、90%の子どもたちについては転校先を確保したが、残りの10%については新たに奨学金制度を設けることに検討している。また、退職を余儀なくされた教員への退職金の支払いが課題となっており、これについては、日本で ACEF ユースが中心となって、クラウドファンディングを実施し、予定額を上回る 917,000 円を集めることができた。

5. 助成金支出状況（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

2024 年 3 月 31 日現在の支出状況は、以下の通りである。

費目	内容と内訳	NPF 助成額	支出額	備考
人件費 1	（業務委託）日本人現地コーディネーター／通訳 50,000 円×8 か月＝400,000 円	400,000	400,000	6 月 6 日変更申請
人件費 2	現地スタッフ給与 50,000/月×12 か月 ＝600,000BDT＝726,000 円	726,000	726,000	
旅費 1	事務局長渡航費補助	100,000	100,000	10 月 17 日変更申請
会議費	日本企業を巻き込んだイベント開催費補助（BDP 主催）	100,000	100,000	
施設建設費・改修費	BDP 学校校舎改修 500,000BDT/校（うち 125,000BDT 地元負担）×4 校＝2,000,000 円＝2,420,000 円、研修センター改修 600,000＋400,000＝1,000,000BDT＝1,210,000 円（うち 302,500 円地元負担）	1,674,000	1,674,000	
合計		3,000,000	3,000,000	

6. 事業担当者および問合せ先

担当者：柳原さつき

認定 NPO 法人 アジアキリスト教教育基金 (ACEF エイセフ)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-26

Tel: 03-3208-1925 Fax: 03-6278-9180

Email: satsuki.yanagihara2@acef.or.jp